

発 言 通 告 書 < 総括表 >

平成 15年 第4回 定例会 一般質問

発言者	発言事項	発言要旨	答弁を求める者
1 中村議員	国際標準化機構環境マネジメントシステム (ISO14001) を取得した千代田区役所として、環境の視点から職員等の服装を考え直す必要がありませんか。	以前の区役所は、背広・ネクタイの男性職員に合わせた室内温度設定をしていたために、夏でも女性はひざ掛けを必要としました。この際、服装のあり方を見直しませんか。 現在 職員に貸与している制服は前時代的なデザインに見えます。もっと区民の皆さんが好感を持てるものに変えませんか	区長
2 下田議員	千代田区まちづくり条例について	日本全土をカバーすべく施行されている現行の都市計画法、建築基準法の委任条例である「地区計画」のみでは地域の多様性に対応しきれない極面が多々発生する。 これ等の法制度を有効に活用しつつ自主条例としての「まちづくり条例」を定める事により両者の連携又、一体的運用を図る事が真の地域の多様性に適合した都市再生であり活性化であろう	区長及び関係理事者
3 荻原議員	1. 千代田区における災害時のトイレ対策について	1. 阪神・淡路大震災での反省点に立ち、組み立てに時間や人手を要し、衛生面や高齢者・障害者への配慮が欠けている現在の災害用仮設トイレには問題点が多い。一人でも組み立てられ、高齢者・障害者にもやさしい福祉型の災害用仮設トイレへと整備していくことについて、区の考えを問う 2. 学校の校庭や公園、広域の広場に下水道利用の仮設水洗トイレいわゆるマンホール直結型のトイレを推進していくことについて、区の考えを問う	区長並びに関係理事者
4 嶋崎議員	住宅改修の経費を負担する事の利用の仕方と福祉協議会の資金貸付制度を今後どうするか 介護予防事業とこれからのパワーリハビリテーションの推進をどうするか考えてみませんか	手すりの設置やバリアフリーにする為の住宅改修は9割分が給付されますが一時的に経費を負担する事は区民にとって非常に大変なことではないか 介護予防 健康作りをどのように区民にアピールし推進していくか	区長並びに関係理事者
5 寺沢議員	「心のノート」と教育基本法改正について	文部科学省から補助教材という位置づけで配布された「心のノート」について、千代田区の教育委員会の中でどのような話し合いがもたれ、各学校導入に至ったのか。 「心のノート」の内容が子どもの内面を一定方向に誘導したり、愛国心の押しつけになるのではと考える教育関係者が危惧をいただいている。区長、教育長のご見解をお聞かせ下さい。 教育の憲法とも言われる教育基本法改正が狙い以上に上がっている。「心豊かでたくましい日本人の育成」を目指す観点からの中央教育審議会の答申について、どのようにお考えか、お聞かせ下さい。	区長及び理事者、教育長
6 河合議員	SARS (重症急性呼吸器症候群) 対策について考えてみませんか	年末のSARS流行が懸念されている中、千代田区における対策は	区長並びに関係理事者
7 飯島議員	障害者の福祉について	1) サービス低下にならない支援費制度に 2) 障害者のグループホーム建設について など	区長並びに関係理事者
8 鈴木議員	千代田区の住宅政策について	区民が安心して住みつけられる区の住宅政策はいかにあるべきか区長の見解を問う 最近発表された 国土交通省の諮問機関である社会資本整備審議会住宅地部会の「新たな住宅政策のあり方について」 日本経団連の「住みやすさで世界に誇れる国づくり-住宅政策への提言」 千代田区政策会議の「千代田区居住の魅力と課題に関する提言」 等に関連して質問をする。 千代田区の住宅基本計画の改定について 改定作業はどのように行われているか、etc	区長並びに関係理事者
9 大串議員	「子どもにつけまわさない」との決意にたち、今年度より本格実施となる行政評価制度について問う	(1) 行政評価制度導入の目的と基本的な考え方は。 (2) どういう評価制度となるのか、その特徴と活用方法は。	区長並びに関係理事者
10 桜井議員	解体工事のルール化について 街の美化推進活動について	安全な解体工事をさせるためには 近隣住民が十分な説明を受けられるよう事前の説明会を義務づけてはどうか 住民要望を反映させるには本工事も含めて工事協定書をしっかりと結ぶべき 区民と行政が連携して取り組む美化推進の仕組みづくりが必要 ステ看板やピンクチラシなどの違法な広告物を区民が問題なく撤去できるようにする為には	区長並びに関係理事者